

KPU NEWS



社会を動かす薬学へ。
京都薬科大学
KYOTO PHARMACEUTICAL UNIVERSITY

No. 201 Apr. 2020



新入生の皆さんへ

学長 後藤 直正

春爛漫の今日、京都薬科大学へご入学されました皆さん、おめでとうございます。学部入学生、大学院入学生の皆さんをお迎えすることは、本学のみならず、薬学にとりまして大きな喜びであります。

本学の建学の精神は「愛学躬行」であります。この意味するところは「学問を愛すると共に、自ら実践すること」であります。1884(明治17)年の京都私立独逸学校設立を礎とする本学は、その後、私立京都薬学校、京都薬学専門学校を経て、1949(昭和24)年に京都薬科大学へと昇格し、今日まで135年余りの歴史を刻んできました。この間、本学のみならず、薬学にとっての大きな転機は薬学6年制教育の開始(2006年)であります。この6年制教育の開始以来、本学はScience(科学)、Art(技術)、Humanity(人間性)のバランスのとれた「ファーマシスト・サイエンティスト」の育成を目標に教育・研究を展開してきました。そして15年

目の現在、私たちは6年制薬学教育・研究の第2ステージと捉え、研究活動で培った成果を科学教育に活かし、「薬学領域で光る人材」「薬学の枠を超えて活躍する人材」を育成することが6年制薬学を先導する本学の使命であり、そして薬学を起点に『社会を動かす。』ことを目指しております。

さて、これからの6年間は科学・技術・人間性の基本を身につける期間であり、それらをもとに自分の人生を、自分の力で描けるようになることが本学で学ぶ意義であります。薬学の領域は、病める人を出さない、病める人を救う、つまり予防と治療の専門領域です。人の生命を左右する領域であり、学ばずして、職能を発揮することはできません。当然のことながら、学ぶのは皆さんで、教育職員・事務職員は皆さんをサポートする、コーチする役割にしか過ぎません。6年間に必要なことは皆さんが全職員からの啓発に応じ、自立し

CONTENTS

■ 特集

京都薬科大学 専門・認定薬剤師養成
履修証明プログラム「Lehmannプログラム」について・・・ 4

■ ご挨拶

新入生の皆さんへ 学長 後藤 直正 1
定年退職のご挨拶..... 2
新任のご挨拶..... 3
昇任のご挨拶..... 3

■ イベント

「白衣授与式」..... 8
2019年度合同多職種連携(IPE)研修会..... 12

■ 報告

2020年度入学試験結果と総括 15
2020年度大学院冬季募集の入学選考結果 15
KPU NEWSの歴史を振り返る～創刊200号を迎えて～ Part. 2..... 17
【寄稿】 陵ヶ岡小学校でのワークショップに参加して..... 19
【寄稿】 薬物乱用防止啓発リーダーの活動について..... 20
受賞・掲載 23
京都薬科大学奨学寄附金芳名録 24

■ コラム

水中でぶつぶつ 9
私の薦める、私の一冊 14
京薬コレクション 16
卒業生からのメッセージ 21
学生相談室だより 22

■ お知らせ

単位互換制度～他大学の科目・講座を受けてみませんか～..... 7
人事 7
京薬会だより..... 8
奨学金について 10
生涯教育センターからのお知らせ 13
2020年度オープンキャンパス開催のお知らせ 14
2020年度学費等の納入について 16
クラブだより 18
Library News 21

て学ぶことであります。それに対して、私ども全職員は全力でサポート致します。

勉学ばかりでは6年間も耐えられないのも事実です。ときには息を抜くことも必要です。しかし、それに流され、すべきことを間違えている残念な姿を見ることがあります。なかなか気付かず、時間が過ぎ、戻れない姿は残念なことです。これに陥らぬためには、よき友人・先輩に出会うことです。よき人とは、成績の優良ではなく、努力を惜しまぬ他人(ひと)であり、楽しいときも、悩めるときも、ともに心を通わせ合える他人のことです。このような友人、先輩から啓発され、日々、自分を見つめて欲しいと思います。「人間の成長を促すのは“本・旅・他人”。読書し、旅行し、他人から感銘を受けたら、わずかでもそれを誰かに話す、そして文字化する、これが人間の成長を促す」と言われます。薬学だけでは不足すること、それを補う

のが読書であり、他人と出会う旅であり、それを表現し、他人の反応をみることでしょう。こうして、病める人の気持ちが分かる、人間性を身につけることができるのではないのでしょうか。このような自主的な行動も忘れないで頂きたいです。

最後に、いまを迷っている、将来を迷っている方もおられるかもしれません。迷うことは若いあなたの方の特権です。いまを、また将来を考えている証でもあります。いまなお1万5千人を超える諸先輩が社会の多岐にわたる領域で活躍されています。その歴史を信じて本学で「潔く(いさぎよく)」勉学に励んでみることで、これがいまの皆さんのすべきことではないでしょうか。

皆さんが未来を見据え、薬学を軸として幅広い領域で活躍する人に成長されることを期待しております。

定年退職のご挨拶



創薬科学系
薬品化学分野

教授 赤路 健一

私は平成元年2月から平成10年まで京都薬科大学・薬品化学分野の助教授として本学にお世話になり、平成11年1月から大阪大学・蛋白質研究所に転任いたしました。その後、京都府立医科大学を経て、平成23年に本学に戻ることにし令和2年の3月まで薬品化学分野に在籍いたしました。結局、平成の始めと終わりのそれぞれ約10年を本学・薬品化学分野で過ごしたことになります。私が京薬から転出し思いがけず舞い戻ってくるまでの間、薬学部は4年制から6年制へと大きく変わ

りました。その両方を本学で経験することができたことは大変幸せであったとしみじみ思っております。4年制時代には大学の業務も比較的少なく、修士課程の院生さんたちと実験に没頭できました。今から思うと3K職場であったかもしれませんが、本人は本当に楽しく過ごしておりました。その後、いろんな大学・研究所を経たのち、面目を一新した京薬に戻って6年制薬学教育が着実に定着していく様子を目の当たりにできたことも大きな幸せでした。

平成の時代を通じ、京都薬科大学には大変お世話になりました。本学のすべての先生・事務職員の皆様、そして学部学生と大学院生の皆様、本当にありがとうございました。新しい令和の時代に本学が新たなステージでますます発展されることを祈念して退任のご挨拶とさせていただきます。長い間ありがとうございました。



分析薬科学系
薬品分析学分野

教授 北出 達也

入学はしたものの薬学という学問領域になかなか面白さを見出せなかった学生時代に、主体性もなく選択し所属した研究室が行っていた薬学とは少しかけ離れた研究に出会いました。それがきっかけで大学院修士課程・博士課程に進学し、引き続き教員生活が始まりました。1983年(昭和58年)に助手として就任してから36年間、入学してからでしたら45年間本学にお世話になりました。

私が本学からいただいた人生の宝物は、多くを学び自身の成長に繋げることができた、様々な学生の皆さ

んや職員、大学関係者の方々との出会いの機会を与えていただいたこと、さらに様々な経験を積ませていただいたことです。教員生活は、楽しい思い出が沢山ある一方で、決して平坦な道のりではありませんでしたが、多くの方々からいただいた幸せをかみしめながらの退職となりました。教育に関しましては、良し悪しは別として、このようになりたいという自分勝手な大学教員の理想の姿というものが教員となった当初から自身の中ではあり、それを曲げることなく頑なに追及してきました。教育・研究とも今になってみて、やり残したと感ずることはありますが、時間切れのためこれでおしまいです。これからは教員とは違った題材を見つけて成長し続けたいと願っています。

最後に、これまで支えていただきました多くの皆様方に厚くお礼申し上げますと共に、本学のますますの発展を心からお祈り申し上げます。感謝の気持ちを込めて、永年に渡り本当にありがとうございました。



基礎科学系
一般教育分野

ひろし
准教授 桑形 広司

「本当に私でよかったのですか」というのが偽らざる心境です。理数系科目が全くダメなものが、理科の殿堂京都薬科大学に入職した奇跡。反応がいつも周回遅れでしたが、寛容的な同僚に恵まれた奇跡。

今では記憶の中にしか残っていない本学本館で助教授採用の辞令を受け取ったのが平成4年4月2日。前年の秋に当時学長だった田中久先生から内定のご報告を頂いた時はもう天にも昇る気分でした。4月末に頂いた初めての給料と6月の夏期賞与のうれしかったこと。10年間の非常勤講師時代には考えられない様々な待遇、生活保障に感激、事務局の大森曠さんにお礼に行ったことが思い出されます。

ドイツでドイツ語研修など誰も関心がないだろうと半信半疑な思いで呼びかけたら思いがけない人数が集まった奇跡。幾多の風雪に見舞われましたが、片道2時間の道をほぼ遅刻、休講もなく勤められた奇跡。なん

ととっても大きなケガや病を得ることなく28年も過ごせた奇跡。奇跡に次ぐ奇跡に救われた本学での月日でした。そんなにお世話になった本学に対して何も特別な貢献もできないまま退職となりましたが、今ではよかったと思うことがあります。思いがけず教職員組合委員長を拝命した時に、それまで誕生日退職だった定年退職の日を65歳の3月31日にしてほしいと当時の滝野哲理事長をはじめ法人理事の皆さんにお願いしたところ、責任をもってその年度を務めるのは至極もったもなものと承諾、そして職域、職位にかかわらず退職者は皆同じように年度末に祝福を受ける制度を確立していただきました。あれから10数年の時が流れ、当時は他人事のような気分で、自分が退職することなど全く考えもしませんでした。遂に私にも順番が回ってきました。

今回は流石に定年70歳延長という奇跡はめぐってきませんでした。気が、体力、能力の限界をつくづく感じる毎日です。ここが潮時、この辺りで引退させていただきます。

最後になりましたが、京都薬科大学の弥栄と薬剤師の地位向上を強く強く祈念いたします。教職員の皆様、大変お世話になりました。28年の間に受講して頂いた歴代の受講生の皆様にも深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

新任のご挨拶



生命薬科学系
衛生化学分野

准教授 高山 健太郎

2020年1月1日付で、衛生化学分野の准教授を拝命致しました高山健太郎と申します。私は、2006年に本学（薬剤学・山本昌教授）を卒業した後、京都大学大学院薬学研究科へ進学し、二木史朗教授（化学研究所・生体機能設計化学）ご指導の下、2011年に博士（薬

学）の学位を取得しました。国立循環器病研究センター研究所（分子薬理部・南野直人部長）の流動研究員を経て、2012年に東京薬科大学薬学部（薬品化学・林良雄教授）の助教に着任、2017年より同講師を務め、この度14年ぶりに母校に戻る機会をいただきました。

これまで「ペプチドが担う生体機能制御」をキーワードに、薬物送達ツール、診断薬、中分子ペプチド創薬に関する研究に携わって参りました。これからは予防へのアプローチに挑戦するとともに、自身が得てきた多種多様な経験を本学での後進育成に惜しみなく還元していく所存です。皆様からのご指導・ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

昇任のご挨拶



病態薬科学系
病態生化学分野

けいいち
准教授 石原 慶一

令和2年1月1日付で病態薬科学系病態生化学分野の准教授を拝命いたしました。私は平成8年に本学を卒業後、生化学教室（現生化学分野）の畑山 巧教授（現本学名誉教授）の指導の下、博士（薬学）の学位を取得しました。その後、引き続き同教室の助手として教育研究に携わり、米国ネブラスカ大学医療センター・ポスドク研究員（Singh DP主宰）、および理化学研究所脳科学総合研究センター神経遺伝研究チーム（山川和弘主宰・現名古屋市立大学大学院医学研究科神経発達症遺伝学分野教授）の研究員を経て、平成21年4月より本

学病態薬科学系病態生化学分野の助教として母校に戻る機会を頂戴し、秋葉 聡教授の指導の下、「病態薬物治療学」の講義や「生化学実習」などの薬学教育およびダウン症候群に関する研究に携わって参りました。

私は、ダウン症候群の脳発達遅滞や知的障害といった中枢症状の病態メカニズム解明と治療戦略の構築を目指した研究を行っております。最近では、研究成果を患者さんに橋渡しを目指したトランスレーショナル・リサーチも開始しており、未だないダウン症候群の治療薬を本学から発信することを夢に学生と共に研究を推し進めていく所存です。

今後も自身の経験および専門性を生かした教育・研究を行うことで、学生の研究マインドを育て、薬学関連領域にとどまらず幅広い分野でリーダーとして活躍できる人材の輩出に貢献したいと考えております。今後も皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

京都薬科大学 専門・認定薬剤師養成 履修証明プログラム「Lehmannプログラム」について

本学の礎は1884（明治17）年少壯の学徒達によって築かれた京都私立独逸学校にあります。以来、約140年のときを経て、その学徒達を慈しみ育てた京都府招聘ドイツ人教師H. Rudolph F. Lehmann先生の名を冠したプログラムを開始できますことは本学の喜びであり、また本学の歴史に新たなページを加えるものであります。

Lehmannプログラムは、いわゆるリカレント（循環する）教育であります。本プログラムの受講生は、「大学から社会へという方向の教育」、つまりすでに大学で薬剤師として必要な知識・技能・態度を身につけ、薬剤師として医療現場で奮闘努力されている方々が大学に戻られて、現場での課題の解決に大学で学んだことを使うことを学ぶプログラムです。決して、すでに大学で履修されたことを、同じ方向性で再び学び直すことではありません。受講生が医療現場での課題解決にアプローチすることを大学教員がサポートし、大学と医療現場との間の循環によって薬剤師業務の成果を科学的に根拠づけ、社会に示すことを目指しています。

本プログラムは2020年度限りではなく、継続して開講いたしますので、趣旨をご理解いただき、受講する方々が続くことを期待しております。

学長 後藤 直正

Feature article.

■プログラム趣旨

医療の高度化・多様化や地域医療の推進などを背景に、薬剤師には、より質の高い薬学管理や高度専門性を習得した「薬学領域のリーダー」となる人材が求められるようになってきました。このような社会の要請に応えるため、近年、学会などが認定する専門・認定薬剤師資格の取得を目指す薬剤師が増加してきています。専門・認定薬剤師資格を取得するためには実務経験に加え、論文や症例報告書を作成する能力が求められますが、論文や症例報告書の作成指導を専門的に受けられる機会が限られているため、資格取得を断念する薬剤師も一定数存在するのが現状です。

京都薬科大学は、このような課題の解決に向け、薬学領域のリーダー育成と専門・認定薬剤師資格取得をサポートすることを目的とし、社会人向けの履修証明プログラム「Lehmann（レーマン）プログラム」をスタートします。Lehmannという名称には、これからの医療を支える薬剤師を育成する同プログラムに対する、次のような本学の想いが込められています。

- ・リーダーシップ（Leadership）がとれる
- ・豊かな人間性（humanity）と
- ・管理能力（management）、
- ・先進性（advanced）を兼ね備え、
- ・後進の育成（nurture）にも長けた
- ・新時代薬剤師（new age pharmacist）を輩出するプログラム

Lehmannプログラムは、論文作成能力や症例報告書作成能力のほか、リーダーに必要な素養を身に付けることで、専門・認定薬剤師資格の取得をサポートするとともに、将来の薬学領域におけるリーダーを育成することを目的とした履修証明プログラム※1です。薬学的視点に基づいた症例解析や症例報告書の作成技能を学ぶ「症例報告書作成コース」、適切な研究計画を立て、実践する技能を学ぶ「研究計画・実践コース」※2、わかりやすい論文を執筆できる技能を学ぶ「論文作成コース」※2の3コースを展開し、専門・認定薬剤師資格取得に必要な知識や技能を段階的に身に付けるための教育を提供します。

※1 履修証明制度に基づく社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラムであり、その修了者に対して法に基づく履修証明書を交付できるプログラムです。

※2 2021年度開講予定

■募集人数

症例報告書作成コース：20名
(研究計画・実践コース、論文作成コースは2021年度開講予定)

■出願資格

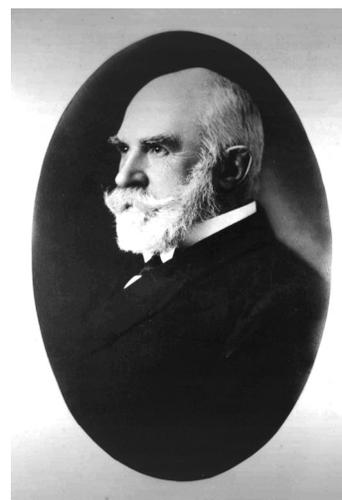
薬剤師国家資格を有する者（他大学出身者でも可）

■履修期間

1年間（2020年4月～2021年3月）

■学費等

入学金10,000円、受講料150,000円



H. Rudolph F. Lehmann

■カリキュラム内容

専 門 科 目 (1 コ ー ス 選 択)	症例報告書作成コース専門科目 「症例報告書」とは、患者への薬物治療に関わるなかで、普段と異なるイベントに気付き、科学的根拠をもって事象を説明する文書である。この症例報告は、学会等の認定・専門薬剤師になるための要件にも求められている。本講義では、薬学的視点に基づいた症例解析や症例報告書作成の基本的事項を学び、症例報告書を作成できる技能を学ぶ。	各28.5時間
	研究計画・実践コース専門科目 ^{※3} 「研究」とは、未知の事象を明らかにする活動である。しかしながら、曖昧な研究計画では、その研究成果が主張できない。また、優れた研究計画により実施された研究でも、その成果が伝わらなければ無意味である。本講義では、研究計画の基礎を理解し、適切な研究計画を立て、実践する技能を学ぶ。	
	論文作成コース専門科目 ^{※3} 「論文」とは、研究の成果や意義を多くの第三者に正確に伝える唯一の情報媒体である。研究成果が正しく評価されるためには、わかりやすい論文を執筆することが求められる。本講義では、論文作成の基礎を理解し、わかりやすい論文を執筆できる技能を学ぶ。	
共 通 科 目	薬学領域におけるリーダー養成基礎科目 専門薬剤師・認定薬剤師など薬学領域のリーダーを目指すうえで必要となる「認定・専門薬剤師の意義」「医療倫理・生命倫理」「コーチング」「リーダーシップ」等について学ぶ。	20.5時間
	医療を支える基礎薬学 薬学で学ぶ基礎科目は医療現場と密接に関係し、薬剤師の職能のベースとなるものである。本講義では、実際の医療現場で活用できる化学、生物などの基礎科目のトピックスを物理化学的な観点も交え解説する。	6時間
	医療を支える応用薬学 医療・薬学技術の進歩は目覚ましく、また医療ニーズの変化ならびに多様化に伴い、薬剤師は生涯学習を通じて研鑽を積むことが求められる。本講義では、卒後の最新医療の実践に対応するため、各疾患に対して薬学的視点でどう関わるか臨床と基礎の連関を学ぶ。	9時間
	統計学 医薬研究をはじめ、医療政策および医療現場での意思決定には十分な情報の集積とそれに対する統計処理が重要になる。特に、公衆衛生学や疫学などで汎用される医療統計学および社会統計学は、医薬研究や医療問題、健康問題などを評価・把握するうえで重要な学問である。本講義では、それらの活用の意義および手法について学ぶ。	3時間
	医療と芸術 薬剤師は、先端医療での多職種連携や医療現場での接遇など、他者との密接な関わりを求められ、豊かな人間性が要求される。本講義では、医療に関わる芸術の鑑賞を通して、他者を理解し許容する幅広い人間力を磨く。	3時間
	医療におけるAI・ICT活用 これからの時代、医療現場にはさらにAIが導入される。またICTの発達で、医療情報の提供や共有のあり方も変化を迎えている。本講義では、AIおよびICTの概要を理解し、新時代での指導的な医療人・薬剤師の在り方およびAIの利活用の仕方を学ぶ。	3時間

※3 2021年度開講予定

合計73時間

■履修スケジュール（2020年度症例報告書作成コース・予定）

Lehmannプログラムでは73時間の科目を履修しますが、これらの科目は社会人でも履修しやすいよう、休日（主に日曜日）を中心に開講します。2020年度の開講予定は下表のとおりです。2021年度以降はe-learningコンテンツの割合を増やし、京都から離れた地で活躍する薬剤師の皆さんにも、更に受講しやすい環境を整備する予定です。

症例報告書作成コース						
開講日	講時 ^{※4}	共/選	科目名	学習項目	方法	時間数(分)
2020/4/5(日)	1	共通	リーダー養成基礎	リーダー養成プログラム総論	講義	90
	2	共通	リーダー養成基礎	専門・認定薬剤師概論	講義	90
	3	共通	統計学	統計学概論(1)	講義	90
	4	選択	症例報告書作成専門	症例解析学概論	講義	90
	5	選択	症例報告書作成専門	症例報告書作成概論	講義	90
e-learning (4~9月中に受講)		共通	統計学	統計学概論(2) 医療統計学・社会統計学	講義	90
		共通	リーダー養成基礎	医療・研究倫理概論	講義	90
		共通	症例報告書作成専門	論文検索術概論	講義	90
e-learningもしくは2020年度 (5/17, 6/7, 7/5)開講の 卒後教育講座を受講		共通	医療を支える応用薬学	医療を支える応用薬学(1) - (3)	講義	540
2020/5/10(日)	1	共通	医療を支える基礎薬学	医療を支える基礎薬学(1)	講義	90
	2	共通	医療を支える基礎薬学	医療を支える基礎薬学(2)	講義	90
	3	共通	リーダー養成基礎	プレゼンテーション概論	講義	90
	4	共通	リーダー養成基礎	EBM(論文評価概論)	講義	90
	5	選択	症例報告書作成専門	論文作成概論	講義	90
2020/6/15(月)~19(金) ^{※5}		選択	症例報告書作成専門	症例報告書作成(1)	演習	90
2020/6/29(月)~7/3(金) ^{※5}		選択	症例報告書作成専門	症例報告書作成(2)	演習	90
2020/6/28(日)		共通	リーダー養成基礎	EBMワークショップ	SGD	180
2020/7/19(日)	1	共通	医療を支える基礎薬学	医療を支える基礎薬学(3)	講義	90
	2	共通	医療を支える基礎薬学	医療を支える基礎薬学(4)	講義	90
	3	共通	医療と芸術	医療と芸術(1)	講義	90
	4	共通	医療と芸術	医療と芸術(2)	SGD	90
2020/8/29(土)	1	共通	リーダー養成基礎	EBM(ジャーナルクラブ)	演習	90
	2	共通			演習	90
	3	共通	症例報告書作成専門	症例検討会(1)	演習	90
	4	共通			演習	90
2020/8/30(日)	1	共通	リーダー養成基礎	リーダーシップ論(1)	講義	90
	2	共通	リーダー養成基礎	リーダーシップ論(2)	講義	90
	13:30~ 14:30	共通	リーダー養成基礎	コーチング概論(1)	講義	60
	14:45~ 16:15	共通	リーダー養成基礎	コーチング概論(2)	演習	90
2020/9/14(月)~18(金) ^{※5}		選択	症例報告書作成専門	症例報告書作成(3)	演習	90
2020/10/5(月)~9(金) ^{※5}		選択	症例報告書作成専門	症例報告書作成(4)	演習	90
2020/10/18(日)	1	共通	AI・ICT活用	AI・ICT活用(1)	講義	90
	2	共通	AI・ICT活用	AI・ICT活用(2)	SGD	90
	3	共通	リーダー養成基礎	リーダーシップ論(3)	演習	90
	4	共通			演習	90
2020/11/16(月)~20(金) ^{※5}		選択	症例報告書作成専門	症例報告書作成(5)	演習	90
2020/12/14(月)~18(金) ^{※5}		選択	症例報告書作成専門	症例報告書作成(6)	演習	90
2021/2/6(土)	1	共通			演習	90
	2	共通			演習	90
2021/2/7(日)	1	共通	症例報告書作成専門	症例検討会(2)	演習	90
	2	共通			演習	90
	3	共通			演習	90
	4	共通			演習	90
2021/2/21(日)		共通		修了課題提出		
		共通		指導教員とのディスカッション		
2021/3/14(日)		共通		修了式		

※4 1講時9:10~10:40、2講時10:55~12:25、3講時13:30~15:00、4講時15:15~16:45、5講時17:00~18:30

※5 期間中の1日(夜間)に実施。日時は担当教員等と相談して決定する

■おわりに

2019年12月に公布された改正医薬品医療機器等法（改正薬機法）において、患者自身が自分に適した薬局を選択できる機能別薬局として、「地域連携薬局」や「専門医療機関連携薬局」が導入されました。これまでに以上に薬剤師に求められる職能が高度化・多様化しています。加えて、改正薬機法の公布に合わせ、日本医療薬学会は「がん専門薬剤師」など主に病院薬剤師を想定した従来の専門・認定薬剤師に加え、主に薬局薬剤師を想定した「地域薬学ケア専門薬剤師」を2021年1月から認定する方針を発表するなど、薬剤師の多様な専門性を認定しようという動きが活発になってきています。Lehmannプログラムは、このような多様なフィールドで活躍したいと願う薬剤師を強力にバックアップするとともに、高い志を持つ将来のリーダー薬剤師を結びつける場となることを目指しています。在学生の皆さんも、卒業後さらに薬剤師としての専門性を高め、薬学領域のリーダーを目指したいと考えた際は、本プログラムを積極的に活用してくれることを期待しています。

生涯教育センター長 楠本 正明

NEWS

単位互換制度 ～他大学の科目・講座を受けてみませんか～

教務課

【単位互換制度とは】

本学は「大学コンソーシアム京都」の単位互換制度に参加しています。単位互換制度とは、大学コンソーシアム京都に参加している京都府内を中心とした大学・短期大学が提供する科目を履修し、単位を修得すれば本学の単位として認定される制度です。昨年度は45大学から415科目が提供されました。

修得した単位は、1年間1科目2単位まで（通年科目は1科目4単位まで）を限度として、卒業要件である「人と文化」の選択科目の単位として加算されます。

他大学の授業を受講し、さらに学びを深めてみませんか？なお、単位互換科目の取扱いについての詳細は、学生便覧並びにシラバスを参照して下さい。

■単位互換制度の魅力

- ①講義科目は文化・芸術・政治・自然科学などほぼ全ての学問分野にわたる科目が提供されています。
- ②講義形態は持出講義、既存講義があり、持出講義は「キャンパスプラザ京都」（京都駅前）にて集中講義や土曜日・夏季休暇期間に開講されるなど、他大学生でも受講しやすいよう工夫されています。
- ③講義を受講することにより、他大学生との交流の機会が広がります。
- ④受講生は単位互換履修生として、科目開設大学の図書館等を利用することができます。
- ⑤全ての科目を無料で受講できます。ただし、科目によっては、参考書等テキスト代等が必要。

受講の申し込みは、前期・集中・後期科目とも4月9日(木)13:00までにWebにて出願票作成後、教務課に提出して下さい。詳しい出願方法・授業概要・シラバス等については大学コンソーシアム京都のWebサイトを参照して下さい。

<PC> <https://el.consortium.or.jp/login.php>

なお、上記URLからは科目開講時に休講・補講・試験等の連絡事項も閲覧することができます。



大学コンソーシアム京都

NEWS 人事

採用

生命薬科学系 衛生化学分野 准教授 高山健太郎
(任期：2019. 1. 1～2023. 12. 31)

事務局企画・広報課 主事 杉本 明子
事務局進路支援課 事務員 永島真由実
(以上2020. 2. 1付)

昇任

病態薬科学系 病態生化学分野 准教授 石原 慶一
(任期：2020. 1. 1～2024. 12. 31)

再任用

病態薬科学系 臨床腫瘍学分野 准教授 中田 晋
(任期：2020. 1. 1～2024. 12. 31)

兼務

生涯教育センター

主事 杉本 明子
(2020. 2. 1付)

庶務課

2020年2月17日(月)午前10時から創立130周年記念館において、病院・薬局での実務実習を直前に控えた学生356名を対象に、白衣の授与式を挙行いたしました。

今回学生に授与した白衣は、教育後援会と京薬会からのご支援によるものです。

式典では、学生の代表者2名が学長から白衣を授与された後、全員が校章と大学名の入った白衣を着用しました。その後、後藤学長からの式辞、矢野臨床薬学教育研究センター長からの「実務実習に向けた心構え」の説明後、教育後援会の清水会長様と京薬会の西野会長様からそれぞれ挨拶をいただきました。

最後に学生の代表から「指導薬剤師や他の様々な職種の方、時には患者さんとの対話を大切に、患者さんに寄

り添えるような薬剤師になるべく、最善の努力を尽くす」との誓いの言葉が述べられ、閉式となりました。



真新しい白衣に袖を通し、気持ちも新たに

News 京薬会だより

<京薬祭、駅伝大会への協賛および優秀クラブ表彰>

京薬会では、学生支援事業の一環として京薬祭や駅伝大会に協賛しており、今年も2019年11月2日(土)3日(日)に京薬祭、11月30日(土)に学内駅伝大会が開催されました。

京薬祭は「Change #京薬祭おもし令和!」をテーマに開催され、京薬会ではホームカミングデーとコラボして優秀クラブの表彰を行いました。今年「男子バレーボール部」「マンドリン部」「合唱部(ユーベルコール)」が選ばれ、副賞を添えて表彰しました。



優秀クラブ賞表彰

好天ながら底冷え寒風となった駅伝大会は、参加選手と運営の陸上部をはじめとするスタッフ、応援者が大会を熱く盛り上げてくれました。13時に後藤学長の号砲でスタートし、中庭を周回後、日ノ岡トンネルへ向かい、疏水沿いに大津トンネルを折り返し、ゴールを目指します。コスプレ賞があることから、これを狙ったピカチュウチームをはじめ、クラブ、分野、事務局など19チーム総勢140名の多彩な選手によるスタートとなりました。優勝は、硬式テニス部でした。完走後には温かいぜんざいがふるまわれ、選手達もほっこりしていました。



学長の号砲でスタートしました

2020年の第11回ホームカミングデーは、京薬祭最終日の11月1日(日)開催予定です。多くの皆さんの参加をお待ちしております。

<4年次生に白衣授与>

白衣授与式が2月17日に挙行されました。令和元年度から京薬会は、教育後援会とともに4年次生全員に白衣を贈呈しました。学外実習に参加する新5年次生の皆さんが、京都薬科大学のネーム入りの白衣を着用し、それぞれの思いとともに5か月間の貴重な社会現場で活躍されることをお祈りします。



白衣授与式で後輩を激励する西野会長

<2020年度 京薬会代議員総会の開催予定>

2020年度京薬会代議員総会を5月23日(土)に開催します。当日は午前中に支部長会、午後に代議員総会を予定しています。代議員ならびに支部長の皆様はご出席くださいますよう御案内します。



水 中で ぷつぷつ

— 第 14 話 —

“ケシ二語”

学長 後藤 直正

“ぷつぷつ”を書くときに“KY”を意識しないわけでもない。とは言うものの鈍感力も相当なもので、原稿締切りの日にやっと書き終わり、ようやく気づいた。「新生を迎える“季節”に〇〇〇はないやろう」。ミゼラブル、原稿破棄(うそ、肩のこらない季節用にクラウドへ)。ええい、ままよ、明日じゃと。帰りがけ目で語る編集担当▲1年次生への授業で“本学学章はなにをデザインしたものか”、“かぼちゃ”、感涙に咽ぶ、フレッシュな答えが返ってきた。かぼちゃではなく、ケシ(Poppy) *Papaver somniferum* Linneの果実(ケシ坊主)に由来する。その学章のもとでは“ケシ”という語に敏感になる▲“芥子”と“罌粟”の漢字表記がある。初めて“芥子”を見たとき、カラシかあ(かぼちゃよりは---)と、“罌粟”は葛飾北斎画《罌粟図》に出会うまで知らなかった。使い分けは積年の疑問▲平安朝以来千年受け継がれてきた『源氏物語』にはケシが二回登場する。原点となるものはいずれも“芥子”が充てられている。“葵”の帖、葵上への怨念に燃え上がる六条御息所が、わが衣に生霊退散祈願の護摩で焚かれた“芥子”の匂いがあるを知る。護摩壇に近づいたこともないのになぜ。こうして、わが身が生霊となり葵上へとりついていることを覚る。二回目は宇治十帖“手習”の帖。瀕死の浮舟の回復を願う、連日・連夜の護摩祈祷で疲れ切った阿闍梨・法師たちに、今夜は“芥子”を使うことを許すと書かれている。平安末期の護摩に“芥子”が使われていたとは。それも“罌粟”ではない▲あるブログ*に“罌粟”は「中国の漢字表記で、ケシ坊主が罌(もたい、口のつぼんだ甕)に、また種子が粟に似ていることから」と。また“芥子”については「日本特有の標記で、本来カラシを意味する漢字ではあるがケシの種子がカラシのそれに似て小さいから。しかし両者が違うことを知りながら同じ字を充てることは常識では考えられない、おおやけにできないゆえの隠語ではないか」と。つまり“芥子”と“罌粟”は使い方が異なるようだ。これに従えば、源氏物語は中身(成分)を、北斎は強い風に吹かれたケシの姿、つまり外身(形)を。いや待てしばし、筆で“罌粟”は書きにくいから芥子としたのか説もありか、けど北斎も鉛筆ではなく、筆▲さきの授業のレポートに「法律で禁じられている麻薬の原料であるケシを学章にしているのはおかしい」と、麻薬に対する真っ当な意見。しかし、ケシは痛みという耐えがたい苦痛から人類を救ったモルヒネの原料であり、現代でも欠かせない医療用麻薬の源流にある。学章として相応しく、また“芥子”が充てられるのではなかろうか。

*Biglobe「ケシのチョット怪しい話」、どなたが書かれたのかは明記なし。しかし「怪しい」とは法に触れる内容ということではなく、推測を含むという意味のようである



学生生活における経済的な不安を少しでも解消し、安心して勉学に励むことができるように奨学金制度があります。募集については、随時manaba上でお知らせします。出願の機会を逃さないようにして下さい。なお、家計が急変した場合には、緊急・応急での採用も随時可能ですので、学生課に相談して下さい。

■ 高等教育の修学支援新制度（給付型奨学金・授業料等減免）

2020年4月より高等教育の新修学支援制度が始まります。この新しい制度には、①日本学生支援機構による給付型奨学金の支給、②授業料等の減免の2つの支援があります。①の給付型奨学生として採用された方は、②の授業料等減免の対象者となります。4月と9月（授業料等減免の申請は10月）の年に2回募集を行います。

【支援対象になる学生】

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生（既に大学等に在学している学生も対象）

【支援を受けられる年収の目安と支給月額及び授業料減免額】

支援対象者	年収目安 給与所得世帯	給与所得以外の世帯	支給月額		授業料減免額 (年額のうち、以下の金額を減免)
			自宅通学	自宅外通学	
住民税非課税世帯の学生 (第1区分)	～約295万円	～約186万円	38,300円 (42,500円)	75,800円	900,000円
住民税非課税世帯に準ずる 世帯の学生(第2区分)	～約395万円	～約256万円	25,600円 (28,400円)	50,600円	900,000円
住民税非課税世帯に準ずる 世帯の学生(第3区分)	～約461万円	～約305万円	12,800円 (14,200円)	25,300円	900,000円

- 注) 1. 上表においては、本人、父、母（無職、無収入）、公立高校生の弟妹1人の4人世帯の年収・所得金額の目安です。世帯員の人数、家庭事情等により異なります。
 2. 生活保護（扶助の種類を問いません）を受けている生計維持者と同居している人及び児童養護施設等から通学する人は上表のカッコ内の金額となります。
 3. 収入基準については、JASSOホームページに掲載している「進学資金シミュレーター」（右記のQR）により具体的に確認できます。
 4. 2020年度入学者で新修学支援制度対象者については、上記授業料減免に加え、入学金400,000円の減免を受けることが可能です（納付済み入学金を還付します）。ただし、10月採用者は除きます。
 5. 授業料の減免については、2期に分けて減免します（前期450,000円、後期450,000円）。



【学業等にかかる基準】

新入生	2年次生以上
①高等学校等における評定平均値が3.5以上または、入学者選抜試験の成績が入学者の上位1/2の範囲 ②高等学校卒業程度認定試験の合格者 ③将来社会で自立し、活躍する目標をもって学修計画書により確認できる	①GPA（平均成績）等が学部等における上位1/2の範囲 ②修得した単位が標準単位数以上であり、将来社会で自立し、活躍する目標をもって学修計画書により確認できる

【その他要件】

- ・日本国籍、法定特別永住者、永住者等又は永住の意思が認められる定住者であること。
- ・高等学校等を卒業してから2年の間までに大学等に入学を認められ、進学した者であって、過去において本制度の支援措置を受けたことがないこと。
- ・保有する資産が一定の水準を超えていないこと（申告による）。

【適格認定】

支給の期間は原則卒業までですが、毎年7月と3月に家計基準と学業基準を満たしているか判定を行います（学業基準については上記基準と一部異なる）。それにより支援区分の見直しや、奨学金が廃止になる可能性があります。

その他、不明な点がございましたら、日本学生支援機構ホームページ(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>)をご確認いただくか、学生課窓口までご相談ください。

■ 授業料減免制度について

本学では、学内奨学金制度に加え、大学等における修学の支援に関する法律に基づく授業料減免制度及び、別途本学独自の授業料減免制度を設けております。

それぞれ、前期申請については4月、後期申請については10月に受付を行いますので希望される方は、学生課に所定の申請書を提出してください。申請用紙はそれぞれmanaba上の各学年掲示板よりダウンロードが可能です。

種別	減免額	募集人数	募集方法	対象等	
授業料減免制度	授業料減免制度(学部)	90万円 (半期授業料)	約30名	公募 (4月・10月)	経済的な理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀な学生 (年収600万円以下で、国の修学支援新制度対象外の学生)
	京都薬科大学法令等に係る 授業料等減免制度	40万円(入学金) 90万円(半期授業料)	対象者全員	公募 (4月・10月)	国の修学支援新制度対象学生 (注) ・入学金の減免は、2020年度入学者で新修学支援制度対象者のみとなります(納付済み入学金を還付します)。ただし、10月採用者は除きます。 ・授業料の減免については、2期に分けて減免します。(前期450,000円、後期450,000円)

■日本学生支援機構奨学金（貸与型）

経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し学資として貸与されるもので、貸与が終了した後、必ず返還しなくてはなりません。家庭の経済状況等に基づき、奨学金の貸与を受ける必要性、適正な金額、返還時の負担のなどを十分考慮のうえ申込みをして下さい。定期募集は、年1回4月の募集のみです。奨学生に採用されると、卒業するまで貸与を受けることができます（留年中は停止）。

【奨学金の貸与月額】

奨学金の種類	貸与月額	
第一種奨学金 (無利子貸与)	自宅月額	20,000円、30,000円、40,000円、54,000円（何れかを選択）
	自宅外月額	20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、64,000円（何れかを選択）
第二種奨学金 (有利子貸与)	20,000円～120,000円の中から希望月額を選択(10,000円単位) さらに最高月額(120,000円)に月額20,000円の増額希望可能	
入学時特別増額貸与 奨学金(有利子)	10万円、20万円、30万円、40万円、50万円の中から選択(大学1学年において 入学年月を始期として奨学金(第一種・第二種)の貸与を受ける者が対象)	

- 注) 1. 下線付きの月額は、2018年度入学者から新たに選択できる月額です。2017年度以前の入学者は、下線付きの月額を選択できません。
2. 自宅外通学の学生は、「自宅月額」「自宅外月額」の中から月額を選択することができます。
3. 給付型奨学金と併用する場合、区分によっては第一種奨学金の貸与月額が減額になります。

【奨学金の申込基準】

奨学金の種類	募集月	学力基準	年収・所得の上限額の目安					
			給与所得世帯			給与所得以外の世帯		
第一種奨学金 (無利子貸与)	4月	高校 評定平均値 3.5以上	通学形態	上限額	最高月額選択時の 上限額	通学形態	上限額	最高月額選択時の 上限額
			自宅	801万円	749万円	自宅	393万円	350万円
			自宅外	848万円	805万円	自宅外	440万円	397万円
第二種奨学金 (有利子貸与)	4月	学修に意欲があり学業を確実に修了できる見込みがあると認められること	通学形態	上限額		通学形態	上限額	
			自宅		1,144万円	自宅		736万円
			自宅外		1,191万円	自宅外		783万円

- 注) 1. 上表においては、本人、父、母（無職、無収入）、公立高校生の弟妹1人の4人世帯の年収・所得金額の目安です。世帯員の人数、家庭事情等により異なります。
2. 給与所得者（年金受給者を含む）の場合は、源泉徴収票の支払金額（税込）です。
3. 給与所得者以外の場合は、確定申告書の所得金額です。
4. 奨学金の種類や貸与月額については、希望どおりとならない場合があります。
5. 基準を満たしていても、日本学生支援機構からの推薦内示数の関係で採用されない場合があります。

■京都薬科大学奨学金

本学独自の奨学金制度として、給付型・貸与型奨学金が設けられています。給付型奨学金は返還の必要がない奨学金で、貸与型奨学金は卒業後返還となる奨学金です。公募となる奨学金は申請が必要となる奨学金のため、申請を希望される方は必ず申請をして下さい。奨学金の詳細は募集時期になりましたらmanaba上の各学年掲示板に掲示を行います。

種別	金額	募集人数	募集方法	対象等	
給付型	新入生特待生	半期授業料(90万円)	約10名	大学選考 合格通知書に特待生通知書を同封	【2019年度入学者から適用】 新入生:入試成績上位者 《採用人数》一般入試A方式:4名 一般入試B方式:5名 一般入試C方式:1名
	成績優秀者	5~20万円 (特待生は90万円)	各学年 約15名	大学選考 (4月)	【2019年度入学者から適用】 2年次生~6年次生 成績優秀者上位15名 新入生特待生制度を利用して入学した学生が、 上位10名以内であれば90万円給付
	研究・課外活動優秀者	5~20万円	約10名	公募 (3月)	2年次生~6年次生 研究・課外活動において、顕著な実績又は成果を 挙げた者 6月給付
	遠隔地出身学生 (新入生予約制度)	60万円(月額5万円)	約8名	事前公募 (12月)	【2019年度入学者から適用】 近畿2府4県以外出身で、経済的理由により修学 困難な学生 入試前に公募、予約採用を決定する 6年間受給可能(継続審査あり)
貸与型 (無利子)	年額授業料の1/2以内	約10名	公募 (10月)	授業料の支払が困難な者 在学中に1回 10月募集、11月下旬貸与	

■その他の奨学金

地方自治体や企業、その他団体の奨学金制度があります。募集中の奨学金制度は、manaba上に掲載し、随時更新しております。その他奨学金の募集に関して、相談・申請を希望される方は学生課までご相談下さい。

【学生課を通じて募集している奨学金（一部のみ掲載）】2020年度実績

奨学団体名	種別	月額	出願資格
河内奨学金	給付	40,000円	薬学部 一年次生
佐藤奨学会	給付	25,000円	大学・大学院に在籍し、学業・人物が優秀であり、学資支弁が困難と認められる学生
森下仁丹奨学金	給付	30,000円	志操堅実、学力優秀であり、経済的理由により学業の継続が困難な大学生・大学院生
あしなが育英会	貸与	40,000円	保護者が病気・災害等で死亡またはそれらが原因で後遺障害を負っている学生
交通遺児育英会	貸与	40,000円～	大学・大学院に在籍しており、保護者等が交通事故により死亡または高度後遺障害を負った者
各病院・薬局独自の奨学金制度	貸与等		各薬局・病院が独自に募集している奨学金制度や返還助成制度等

その他多くの奨学金をご紹介します。

2019年度京都薬科大学・京都橘大学合同多職種連携（IPE）研修会

Event

臨床薬学教育研究センター 今西 孝至

昨年度に引き続いて、今年度も京都橘大学と合同で多職種連携教育（Interprofessional Education; IPE）研修会を開催しました。今年度で4回目となりますが、一昨年から京都橘大学健康科学部理学療法学科の学生も加わり、薬学、看護学、理学療法学の3領域の学生が一堂に会したIPE研修会です。IPEの目的は「①医療チームの一員として自分の専門職の役割を理解する」、「②他の専門職の視点、考え方、役割を学ぶ」ことであり、異なった医療教育を受けている薬学生・看護学生・理学療法学生が共に話し合い（SGD）、多職種連携の考え方などを知り、各職種にはどのような強みや弱みがあって、各職種が協働してどのような形でチーム医療に貢献できるのかを理解することが大きな目的です。

本年度の研修会に参加した学生は43名（京都薬科大学：5年次生12名、京都橘大学看護学部：4年次生15名、京都橘大学健康科学部理学療法学科：4年次生16名）でした。研修は昨年と同様に「心原性脳梗塞により片麻痺になった患者に対する在宅でのチーム医療連携」についてのシナリオを使用しましたが、今年度は理学療法士からの視点に対する気づきをもう少し表に出てくるようにシナリオを修正しました。実際に研修

会を行ってみると、これまでと同様に、参加した学生達は各専門の医療教育を受けてきているため、それぞれの立場からの意見の違いが明確になり、それぞれの意見をうまく統合させた結論を導き出すのに苦労している様子でした。しかし、本研修終了後の学生達のアンケートを見ると、「同じシナリオであるにも関わらず、着眼点が異なり、普段では捉えない視点が勉強になった」という意見を多く聞きました。また、「後輩のためにも今後もこのような研修会は続けて行って欲しい」という要望も多くありました。

これからの医療は“病院完結型医療”から“地域連携型医療”に必ずシフトします。これに対応するためには、治療（cure）だけでは不十分であり、発症後の介護・福祉も含めたケア（care）も重要です。そのためには、自らの専門的能力だけではなく、他職種の役割を理解した上で、多様な専門職と協働し、患者や利用者のニーズに応えていく実践的な能力を身に付け、医療現場で働き始めた当初から円滑なチーム医療を実践できるように学生時代からしっかり多職種連携について理解しておくことが重要であり、非常に大切な研修会であると考えています。



研修会参加者一同

■2020年度生涯研修プログラム

「薬剤師として求められる10の基本資質」の中に「自己研鑽」があります。薬学・医療の進歩に対応するために、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度が必要とされています。

本学の学生は、2020年度生涯研修プログラムのうち「卒後教育講座」「フィジカルアセスメント講座<入門コース>」「漢方講座」を無料で受講できます。受講希望者は、生涯教育センターまで電話またはメールでご連絡ください。

詳しくは、manaba掲示板でご確認ください。皆さんの参加をお待ちしています。

●「卒後教育講座」申込受付中です ※本学教職員、本学学生無料

患者本位の医薬分業を推進するため薬機法が改正されました。①服薬期間中の継続的な服薬状況の把握や情報提供、薬学的知見に基づく服薬指導を継続的に行うことの義務化、②機能別薬局認定制度の導入、③遠隔服薬指導の規定追加等が明記され、薬剤師の業務が対物から対人へ急速にシフトしています。本講座では、薬剤師が患者のために薬学的介入を実践するための幅広い知識を学びます。

*開催日程：2020年5月17日（日）、6月7日（日）、7月5日（日） 10:00～16:00

*開催場所：京都薬科大学 躬行館3階 T31講義室

*定員：360名 *受講料：12,000円 *認定単位：G24 計9単位（1単位/演題）

*申込受付期間：2020年3月1日（日）～5月7日（木）

*申込方法：生涯教育センターホームページよりお申込みください。 <https://skc.kyoto-phu.ac.jp/>

開催日	10:00～11:30	12:30～14:00	14:15～15:45
2020年 5月17日 (日)	アレルギー性疾患について ～特に、アレルギー性結膜疾患について～ 京都府立医科大学 感覚器未来医療学講座 特任准教授 上田 真由美 先生	即時型アレルギーのメカニズム 京都薬科大学 病態薬科学系 薬理学分野 教授 田中 智之 先生	検査値を用いた個別化医療の実現 千葉大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤部長 石井 伊都子 先生
2020年 6月7日 (日)	薬局・病院での栄養療法の 基礎から実践まで ～現場で使える栄養療法～ 京都桂病院 薬剤科 経営企画室兼務 野崎 歩 先生	薬局・病院での栄養療法の 基礎から実践まで ～現場で活かせる基礎知識～ 京都薬科大学 生命薬科学系 衛生化学分野 教授 長澤 一樹 先生	小児薬物療法の現状と問題点 ～小児薬物療法において 薬剤師は何をすべきか～ 医療法人同愛会小澤病院 薬剤部長 昭和大学薬学部 病院薬剤学講座 兼任講師 冨家 俊弥 先生
2020年 7月5日 (日)	慢性腎臓病の考え方と 腎機能低下時の 薬物投与について 八田内科医院 理事長・院長 近江八幡市立総合医療センター 腎臓センター 顧問 八田 告 先生	CKD患者における 薬物動態の変動 京都薬科大学 医療薬科学系 臨床薬学分野 講師 辻本 雅之 先生	地域包括ケアシステムにおける 薬局の役割 ダイドー薬品株式会社 代表取締役社長 山本 新一郎 先生

●■問合せ先

京都薬科大学 生涯教育センター

*E-mail: s-center@mb.kyoto-phu.ac.jp

*TEL: 075-595-4677 (平日10:00～16:00)

*FAX: 075-595-4683



京都薬科大学
生涯教育センター
ホームページ



2020年度卒後教育
講座申込ページ

KPU NEWS編集委員(企画・広報課) 川勝 章広

伊藤亜紗 著

『目の見えない人は世界をどう見ているのか』

光文社

『目の見えない人は世界をどう見ているのか』

本書のタイトルを見たとき、少し違和感を覚えた。「目の見えない人が世界を見ているってどういうこと？」読み進めていくうちに、その違和感は氷解。人の「見る器官」は目だけではないということ。先入観を捨てて、視点や基準を変えれば見えてくる事実がある。著者は、思考と



体験を組み合わせ、腑に落ちる理論を展開されている。答えがすぐに手に入る今の時代。だからこそ、その答えを導き出す発想や実体験が大事だということを感じさせられる。

著者の近況を調べてみた。東工大に本年2月に設置された「未来の人類研究センター」の初代センター長に就任。ホームページで、次のようなコメントを見つけた。『(略)なぜなら人は、自分がその中にどっぷりつかっている視点や評価基準、価値観をいったん離れたときに初めて、異なる知に出会うことができるからです。目先の判断ではなく息の長い思考、一つの正解ではなく多様な知恵。“利他”の視点を通して、人類を見つめ直していきたいと思います。』

本書は、著者のスタンスを理解するには最適だと感じる(伊藤先生には、今年度、本学が開始するリカレント教育「Lehmannプログラム(詳細はP.4特集記事に掲載)」の「医療と芸術」科目をご担当いただく予定です)。

NEWS 2020年度オープンキャンパス開催のお知らせ

入試課

2020年度のオープンキャンパスを下記の日程で行いますので、お知り合いの受験生、高校生および高等学校の先生方には是非ご案内くださいますようお願いいたします。

詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。入試課にお問い合わせください。

学生企画では、学生トークライブを開催します。大学での学びや京薬生の学生生活、高校とは何が違うのかなど学生目線でわかりやすく、楽しくお伝えするプログラムとなっていますので、是非ご参加ください。

■ 2020年5月のオープンキャンパス

〈日時〉2020年5月31日(日)10:00~13:00

〈主な内容〉

大学紹介・在学生の話・卒業生の話・施設見学・学生企画(学生トークライブ)・相談会

■ 2020年10月のオープンキャンパス

〈日時〉2020年10月25日(日)10:00~13:00

〈主な内容〉

大学紹介・在学生の話・卒業生の話・施設見学・学生企画(学生トークライブ)・相談会

■ 2020年8月のオープンキャンパス

〈日時〉2020年8月1日(土)・8月2日(日)

9:00~16:30

〈主な内容〉

大学紹介・在学生の話・体験実習・施設見学・学生企画(学生トークライブ)・相談会

お問い合わせ

入試課

T E L : 075-595-4678

F A X : 075-583-2232

E-mail : kpu-koho@mb.kyoto-phu.ac.jp

2020年度の学部入学試験が終了しました。志願者数および合格者数は表の通りです。

2020年度入学試験の志願者数は前年比406名減少(-16.3%)し、2,085名となりました。大手予備校の調査によると今年度は入試制度改革を控え、安全志向となっています。

今年度は学外試験場として大阪会場（大阪国際交流センター）を設置し、200名の受験生を受け入れることができました。一方、入試広報活動は、オープンキャンパス、進学説明会・相談会、模擬講義、高校訪問、予備校訪問、学生の母校訪問等の活動により積極的に志願者確保に努めました。中でも、在学生による

母校訪問に力を入れ、65名の学生による訪問を実施しました。また、オープンキャンパスは昨年度に引き続き多くの学生広報スタッフの協力を得て、非常に活気あるものとすることができました。今後も学生広報スタッフの募集を継続しますので、興味のある在学生の皆さんはぜひ応募してください。

2021年度入学試験においても広報活動を通じて本学の魅力を伝え、志願者獲得に努める所存です。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

	募集人員	志願者数	合格者数
指定校推薦	50名	50名	50名
一般公募制推薦	80名	293名	84名
一般入学試験A方式	45名	779名	379名
一般入学試験B方式	180名	954名	421名
一般入学試験C方式	5名	9名	4名

(合格者数は3月13日現在)

2020年度大学院冬季募集の入学選考結果

2020年度薬学専攻博士課程（冬季募集）の入学選考を1月28日（火）に実施し、同日に合格発表を行いました。入学選考の結果は表のとおりです。

■ 2020年度薬学専攻博士課程（冬季募集）の合格者数等

	冬季募集	2020年度合計（夏季募集含む）
志願者数	2名	12名
受験者数	2名	12名
合格者数	2名	12名



京葉コレクション Column 10



作品名 『麗か』
 作者 水田 幹子
 規格 紙本彩色（岩絵具）
 縦 1,900 mm
 横 1,800 mm

水田 幹子（みずた みきこ：1942年～ 京都市出身 日本画家）1964年京都市立美術学校（現京都市立芸術大学）日本画科卒。1967年日展初入選。1968年堂本印象画塾「東丘社」入塾。1969年日春展初入選。その後、京展、全関西展などに入選し、特に、日展日本画部門で数十年にわたり、ほぼ毎年入選を果たし、2002年日展会友となる。

本作品は、第39回（2007年）の日展入選作品であり、西野京葉会会長を通じて2019年2月に作者本人から本学に寄贈された2作品のうちの1点である。本学が所蔵する水田氏の作品は、本作品と同時に寄贈された『けし』と、2018年2月に野口隆志・紘子ご夫妻（1965年卒）から寄贈された『ひなげし』の3点であり、本作品と『ひなげし』は、創立130周年記念館のエントランスロビーに、『けし』は躬行館2階のロビーにそれぞれ展示している。機会があれば、一度ご鑑賞願いたい。

※京葉コレクションは今回で終了となります。長らくのご愛読ありがとうございました。

NEWS 2020年度学費等の納入について

会計課

2020年度学費等の納付書を保証人様宛てに送付いたします。
 下記の納入期限までに、学費等を納入してください。

	前期	後期
納付書発送	4月上旬	9月中旬
納入期限	4月30日	10月31日

- 経済的な事情により、期日までに納入ができない場合、学生相談員(3年次後期以降は分野主任)に相談し、事務局学生課にて速やかに学費延納手続きを行ってください(学費延納手続の用紙は学生課窓口にあります)。
- 所定の期限までに納入がない場合は、講義・実習等の受講及び各種証明書の発行が停止され、定期試験等の受験資格を失うほか、進級・卒業にも影響し、場合によっては退学処分となりますので、十分注意してください。

<納入手続のお願い>

金融機関窓口で納入される場合は、本学から発送しました納付書をご利用ください。

本学指定の金融機関をご利用いただきますと、振込手数料が無料となります。

なお、インターネットバンキングやATMをご利用される場合は、納入確認が困難となる事例が発生しておりますので、以下の点に十分ご注意くださいようお願いいたします。

振込人名義は、本学納付書の太枠のお振込人欄に印字された整理番号（半角のアルファベットと数字の組み合わせ）、学生氏名を必ず正しく入力してください。保証人その他のご家族等、学生ご本人以外の名義で振り込まれた場合、本学にて納入確認ができない可能性があります。

『KPU_{NEWS}』200号を記念し、前回に続いて学内広報誌の歴史についてご紹介します。

『KPU_{NEWS}』への衣替え

B5判の『学園ニュース』の歴史は1995（平成7）年10月発行の第103号で終わり、第104号（正確には、No. 104という表記に変更）から現在のA4判の『KPU_{NEWS}』というタイトルになります。右の写真でおわかりのように表紙のみ2色刷でした。

『KPU_{NEWS}』という名称は公募によって決まりました。第103号が刊行された前後に学内配布されたと思われるチラシは、10月31日を期限とし、問い合わせ先を入試広報課として、学内関係者や学生へ新タイトル案を募集しています。選考は入試広報委員会となっています。選考の結果は、『KPU_{NEWS}』初号に掲載され、当時図書館に配属されていた本学女性職員の方の案が採用されました。「本学の世界への一層の飛躍を願ってこのタイトルを考えました。京薬大からKPUへ!!」と、新タイトルに込められた提案者の思いが紹介されています。

新タイトルは入試広報課名によって募集されましたが、『KPU_{NEWS}』初号になって初めて編集担当として入試広報課の名前が表紙に明記されました。実は、『学園ニュース』の時代には、編集担当の記載がありませんでした。『京都薬科大学百年史』によると「学生課が中心となって編集に当たった」ということです（p. 250）。なお、編集担当は、第114号（1998年7月）からはKPU_{NEWS}編集委員会となり、現在に至っています。現在の編集委員会には若干名の学生委員が加わっていますが、これがいつからなのか誌面からは確認できません。というのも、編集委員会メンバーの氏名が記載されるのが2010年度からであるためです。

『KPU_{NEWS}』となってからの年度ごとの総ページ数の変遷を見ると、1998年度の104ページ、翌1999年度の76ページ、2005年度から2007年度の70ページ前後を別として、2012年度までは80ページ台から90ページ台を推移しています。



KPU_{NEWS} No. 104

創立120周年前後から現在まで

2004（平成16）年、本学は創立120周年を迎えました。そのため、第130号（2002年7月）から第141号（2005年4月）まで、表紙のタイトル右脇に120周年記念のロゴマーク（右の写真）が入れられました。ついで第142号からは本学のロゴマークが付けられてきています。また、2004年7月22日付で、「平成16年度文部科学省「21世紀COEプログラム」の研究拠点に選定される」と題した初の「号外」が発行されたことも特筆すべきでしょう。さらに、第162号（2010年7月）で多色刷が初めて試みられ、第164号（2011年1月）からは毎号踏襲されています。



120周年記念ロゴマーク

表紙の「KPU_{NEWS}」のデザインが現行のものに変えられたのは、第180号（2015年1月）からです。多色刷りとなって数年が経ち、それまでのデザインとそぐわないように感じられたことが主たる理由です。

創立130周年を翌年にひかえた2013年度（第173号～第176号）以降、2018年度まで年度ごとの総ページ数は100ページを越えるようになっていきます。とくに2015年度は120ページに達しました。記事が多くなりましたので、それまでページ順で記載されていた目次をカテゴリー別に分類して掲載するようにもなりました。

（次号へ続く）

■サッカー部

2018-2019シーズン結果

通算30戦20勝7敗3分88得点41失点
公式戦14戦7勝5敗2分24得点27失点

京都リーグ

2月24日 vs京都教育大学 ●0-6
2月27日 vs龍谷大学 ●1-9
3月 3日 vs京都外国語大学 ●1-4
3月10日 vs京都工芸繊維大学 ○3-0

医歯薬リーグ(2019)

4月7日 vs兵庫医科大学 △0-0
4月15日 vs京都府立医科大学 △0-0
4月21日 vs大阪大学医学部 ●1-2
4月28日 vs滋賀医科大学 ○2-0

関西薬学連盟サッカー大会 (2019)

8月17日 vs岐阜薬科大学 ○1-0
8月19日 vs近畿大学薬学部 ○3-0
8月20日 準決勝 vs摂南大学薬学部 ○4-1
8月21日 決勝 vs近畿大学薬学部 ○5-1

医歯薬トーナメント(2019)

9月28日 vs奈良県立医科大学 ○3-2
9月29日 vs福井大学医学部 ●0-2

今年度の薬学連盟サッカー大会において京都薬科大学創部史上2度目の5連覇を達成しました。翌年度の6連覇を目指して練習に日々励んでいます。

また、医歯薬リーグでは1部リーグに所属しており、毎年数人がベストイレブンを受賞しています。大会以外にもOB総会や年2回のOB戦など、様々な医療分野で活躍しているOBの方々と交流を深めています。

■合唱部

昨年度は、京都合唱祭やコーラスフェスティバル in 山科・醍醐への出演、京薬祭でのミニコンサートを行いました。また、地域の高齢者対象「健康すこやか花まつり」や子供達対象「クリスマスお楽しみ会」に参加し、合唱を通して地域交流・貢献活動も行いました。OB・OGの方々のお力も借りながら、今年度もより一層活動を行っていきます。

(今年度活動予定)

4月 入学式 学歌斉唱
6月 第57回京都合唱祭 出演(ロームシアター京都)
10月 第16回コーラスフェスティバル in 山科・醍醐 出演(東部文化会館)
11月 京薬祭ミニコンサート
3月 卒業式 学歌斉唱

毎週水曜日の16時～奏楽館共同練習場で練習をしていますので、ぜひ私達の歌声を聴きにきてください。

■ソフトテニス部

活動実績

関西薬学生ソフトテニス六校リーグ

男子団体 4位
女子団体 Bチーム 3位
女子個人戦 小山・前田ペア 4位

今後の予定

4月 関西医歯薬学生ソフトテニス大会
5月 四薬戦
8月 関西薬学生ソフトテニス大会
11月 関西薬学生ソフトテニス六校リーグ

■陸上部

(2019年度 活動実績)

全日本薬学生対抗陸上競技大会

男女総合：1位
男子
100m 1位 野村 航也
走幅跳 2位 北田 真也
4×100mR 1位 塚本-野村-北田-橋本
女子
100m 2位 佐野 愛
200m 2位 嵯峨山 理紗
800m 2位 林 千晶
3000m 2位 田中 里奈

関西薬学生対抗陸上競技大会

女子総合：1位
男子
100m 2位 野村 航也
やり投げ 1位 安藤 翔太
女子
100m 2位 阪本 圭織
200m 2位 西岡 香絵
800m 2位 林 千晶
3000m 1位 田中 里奈
4×100mR 1位 田中-佐野-山崎-阪本

全日本医歯薬獣医大学対抗陸上競技選手権大会 出場

関西医歯薬科学生対抗陸上競技大会

女子
4×100mR 1位 嵯峨山-佐野-山崎-阪本

今年度も部員の活躍により、好成績を残すことができました。今後も日々向上心を持って練習に取り組んでいきます。

■管弦楽部

こんにちは。管弦楽部です♪管弦楽部では経験の有無を問わず、学年の壁を越えて仲良く練習に励んでいます。幹部学年も入れ代わり、11月23日に行う第48回定期演奏会に向け、2月から新たに練習を開始しました。ドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」をメインに、みんなで楽しく音楽と向き合っていきます。

定期演奏会の他にも、京葉祭やボランティア演奏ではポップス曲や映画音楽などに挑戦したり、式典等での演奏を行ったりと、様々な活動に取り組んでいく予定です。音楽に興味のある方や大学生活で楽しい思い出を作りたい方は、是非一度覗いてみてください！

■マンドリン部

こんにちは。マンドリン部です。マンドリン部はマンドリン、マンドラ、セロ、ギター、コントラバスの五種の楽器でオーケストラを組み演奏しています。大学から楽器を始めた部員がほとんどですが、部員同士で協力して練習し、また技術顧問の先生の指導を受けるなど意欲的に取り組んでいます。春合宿も終わり、現在は4月19日(日)に開催される全日本マンドリン連盟・京都ブロックの合同演奏会にむけての練習を行っています。

部活中は真剣に取り組む、また日頃から学年の垣根を越えて仲が良いので、和気あいあいとした雰囲気の中活動しています。マンドリンという楽器を知っている人も知らない人も、ぜひ聴きにきてください。

【寄稿】 陵ヶ岡小学校でのものづくりワークショップに参加して *Report*

■ 3年次生 田中 聡美

以前からボランティア活動に興味を持っていた私は、今回学内で募集のあった、京都橘大学の「たちラボ（地域交流を目的とした学生団体）」が主催する『ものづくりワークショップ』にボランティアスタッフとして参加させていただきました。この『ものづくりワークショップ』は2019年度山科「きずな」支援事業として、山科区役所から補助を受けて運営されています。今回、参加を通して経験したことを、本紙面を借りてご報告させていただきます。

このワークショップは、陵ヶ岡小学校の生徒と山科地区の高齢者の世代間交流をテーマとしており、今回は橘大学の学生と共に「かぼちゃランタン」や「ステンドグラス」など様々な作品を作るワークショップや、お年寄りと生徒の交流を深めるレクリエーション（カルタ遊びなど）などを一から計画し、9月～12月の期間で計4回開催するものです。

ボランティアスタッフは4～5名程度であり、京都橘大学サテライト・ラボラトリー「たちラボ山科」に集まり、計画や役割分担、事前準備を行いました。毎回、十分な準備をしてからワークショップを開催するのですが、参加者それぞれの作業ペースが異なるため、スケジュール通りに進まないこともしばしばありました。また、「簡単に作れる」と思って用意したものであっても、参加者にとっては作業が複雑で難しいものがあり、「認識の違い」というものを痛感しました。ワークショップ後、レクリエーションを行うのですが、その場でも会話が弾まないなど交流が進まないこともあり、終了後は毎回反省会を行い、「次からはカルタを用意しよう」など、改善していくための話し合いをしました。

私は祖母以外の高齢者の方や子どもたちと交流する事があまり無く、今回このような形で高齢者や子どもたちの目線になって物事を考えることはほとんどありませんでした。今回このボランティアを通して、ふれあう機会が持てたことは、自分自身の考え方の幅を広げる意味で、非常に良い経験になりました。

た。また、陵ヶ岡地区の自治会長さんによれば、この地区も過疎化や高齢化が進んでいるようで、自分の通う大学周辺地域の事も知ることができました。

その他、地域連携事例紹介ポスターセッションにも参加させていただきました。

ここでは京都府内での大学・学生によるまちづくり事例を紹介しており、私達の他にも過疎化が起きている地域の活性化を目的に活動しておられる団体や、同じようにものづくりによって人と人との交流を行う活動をしておられる学生の方々が多くいらっしゃいました。私も他の学生とどうすれば過疎化を防ぐ事が出来るかや世代間交流の難しさなどを話し合う事ができ、地域の問題について考える有意義な活動になったと思います。

地域の問題という枠を超えて、少子高齢化は私たちが避けては通れない近い未来です。「関係のないこと」として無関心になるのではなく、少しでも関心を持ち、そして動いてみませんか。

今回のワークショップは全4回で終了しましたが、「たちラボ」では次の活動を計画中です。地域連携事業やボランティアに興味のある方は是非こういった活動に参加してみてください。ボランティアとして一から企画する楽しさや運営する難しさ、他大学の学生と協力することで、広い視野で、様々な知らないことを知ることができる良い機会となるはずです。



第1回ワークショップでは
サンキャッチャーを作成しました
(筆者：中央)

あっこ

3年次生 森田 貴子

2018年度の夏、私は京都府主催の薬物乱用防止啓発リーダー養成講習会に参加し、学生啓発リーダーとなりました。今回、薬物乱用防止啓発リーダーとしての活動について、本紙面をお借りして報告させていただきます。

まず、8月に今年度初の試みとして実施された、体験型薬物乱用防止学習に参加させていただきました。体験型薬物乱用防止学習では薬物事犯に係る模擬裁判を通して、薬物乱用防止の普及を図ることを目的としております。内容は、午前中に模擬裁判に関する講義を受け、午後に向けた準備やリハーサルを行い、午後は実際に観客の見守る中、模擬裁判を行いました。裁判中には作戦会議の時間が設けられ、実際に現役の検察官の方からアドバイスを頂き、アドリブを含みながら進んだため、法廷教室は緊迫した雰囲気でした。模擬裁判後は証人役の医師として参加した先生による講義が行われ、薬物が体内に与える影響について、一般の方にもわかりやすく説明してくださいました。この体験型薬物乱用防止学習では、薬物に関わる事件の意味を深く考える機会となり、薬物乱用を身近な問題として考える貴重な経験となりました。



模擬裁判の様子
(筆者：左)

続いて、10月には「高校生と考える薬物乱用防止シンポジウム」が、京都外国語大学にて開催され、体験型薬物乱用防止学習での学びを基にパネリストとして参加させていただきました。国立精神・神経医療研究センターの嶋根先生の講義を聴講し、京都の高校生、京都外大の学生とともにディスカッションを行いました。講義の内容は「人はなぜ、ドラッグを使うのか」を題とした公衆衛生分野における疫学的な薬物乱用依存に関する内容で、本学の授業内で習った部分もある一方、知らない内容も多くありました。講義を受け、私たちが普段習っている内容

は氷山の一角のような僅かな知識であることを再認識しました。嶋根先生は薬学部をご卒業された後、医学博士を取得され今のご職業に就かれています。薬学と同じ分野を専攻している一学生として今後どのような職種を選択したとしてもその領域の勉強が重要であることを改めて実感しました。

講義後のディスカッションではさらに薬物依存の理由について議論を深めました。議論をする中で私は、「コミュニティ」がキーワードになるのではないかと考えました。生活する中でコミュニティによるストレスや、コミュニティの仲間による影響は少なからず存在します。そういったコミュニティの影響によって薬物乱用の可能性が生まれます。また視点を変えると、万が一使用してしまった場合や使用の誘いを断るための「相談、支援のコミュニティ」が存在すると考えられます。薬剤師の立場としてはどういった関与ができるかを考えてみると、使用してしまった場合のサポート、つまり、「相談、支援のコミュニティ」になれるのではないかと考えました。



「高校生と考える薬物乱用防止シンポジウム」におけるパネルディスカッション

現在、地域の薬局では無料で専門知識を持つ薬剤師に相談ができる健康サポート薬局などの制度があります。この制度が浸透することで、地域の薬局は薬物に関する悩みを抱えた人のゲートキーパーになれるのではないかと思います。未来を担う若者が、違法薬物への誤った認識を持ち、薬に頼ることで、自分や家族の人生を狂わせるような事は決してあってはなりません。少しでもこういった制度が社会に普及するよう、一薬学生、そして薬物乱用防止啓発リーダーとして、薬物に頼らず、困ったときには助けあえる人生を送れる社会作りに貢献していきたいと思っています。そして、この活動を私で終わらせることなく後輩にも伝えていけるよう活動を行っていく予定です。

最後になりましたが、私たち薬物乱用防止啓発リーダーが活動するに当たり、ご協力をいただきました関係者の皆さまへ、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。



学生生活と将来像

森本 幸太



2017年 学部卒業
(薬品製造学分野)

京都市保健福祉局保健福祉課
医療衛生センター
衛生監視員 (係員)

皆さんは、現時点で将来の設計図をどのように描いていますか。そう尋ねられて、「私はですね」と、自分の将来像を明確に述べるができる方、とても素晴らしいと思います。早くから目標が定まっていれば自ずと「それを叶えるためには、どのようなことをすれば良いか」ということを常に意識するようになり、積極的で計画的な行動に結びつくものと思います。

一方、「将来のことをよく尋ねられるのだけど、数ある中から一つに決めきれなくて迷っている」という方もいるのではないのでしょうか。これはこれで素敵なことと感じます。自分の可能性を考えれば考えるほど、「この仕事をしてみたい。でも、あの仕事も自分にあっているのではないだろうか」と気持ちが揺れ動くこともあるでしょう。

また、「先のことだし、目の前の熱中していることに、頑張ることだけで精一杯」という方もいるで

しょう。このような場合では、タイミングさえ逃さなければ、意識する対象が具体的な進路に切り替わった時には、大きく前進していけるものと期待できます。

私自身が学生の時のことを述べますと、あまり立派なこととは言えません。公務員になるという将来像はほとんど描けていませんでした。留年の危機を乗り越えつつ、所属していた軽音楽部の目の前のことに熱中していたように感じます。

皆さんの中にも、勉強以外のことに一生懸命になりすぎて、学業成績が芳しくない方もいるかもしれません。それでも大丈夫だと思います。自分が学業以外でも自信を持って一生懸命に行ったことがあれば、それはそれで学業成績には必ずしも反映しにくい「人間力」のようなものとして身につけているかもしれません。将来像を見定めた時、それは道を切り開く大きな力になってくれるでしょう。私自身、業務が多岐に渡り、様々な人と関わりを持つ公務員という仕事において、こうした「人間力」の必要性を現在の職場で感じています。学生生活において、自分が大切とする「こだわり」のようなものを一つ持っておくと良いと思います。将来なりたい自分になれるように貴重な学生生活を有意義にエンジョイしてください。

でも、卒業はしまししょう。「人間力」はあくまでプラスアルファであり、基礎学力を身につけたうえでのお話です。

Library News

開館日程

図書館

2020年4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2020年5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2020年6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

8:30-21:00

10:00-17:00

休館

休館=館内整備

■ 学生生活の中で悩んだときに ～学生相談室のご案内～

4月、新年度の始まりです。新入生の皆さんは新しい大学生活のスタート地点に立ち、期待や緊張など、さまざまな思いを抱いておられるのではないのでしょうか。在学生の皆さんの中には新年度の始まりにあたって、慣れたものだと落ち着きはらっている方もいれば、気を引き締めなければと思っていらっしゃる方もおられるかもしれませんね。

本学は6年制の大学です。長い学生生活の中では様々な課題や悩みに直面する場面が少なからずあると思います。学業にかかわることだけでなく、友人・家族といった対人関係にかかわることや課外活動、自分の将来のこと、自身の性格に関することなど、課題や悩みとなるものは人それぞれ異なりますが、皆さんそれぞれが自身の問題に直面し、思い悩むときがあるかもしれません。解決に向けて悪戦苦闘したり、右往左往したり、時には一休み、立ち止まってみたり、周囲に助けや助言を求めたりしながら、課題や問題を乗り越えてゆくプロセスが大学生活の中で生じることがあると思います。そうしたプロセスにおいて、自立、成長を目指して一人で考え、思い悩むことも大切な体験かもしれません。ですが、一人で抱え込みすぎることと同じ思考回路の中で延々と考えてしまい、辛さを増長させてしまうといった悪循環に陥ってしまうことがあります。自分で何とかしなければという自立心・責任感に尊いものだと思いますが、独力のみでの自己解決にこだわりすぎて自分を追いつめてしまわないことも

大切です。悪循環から抜け出すために、是非相談という選択肢の活用も考えてみてください。そして、学内にある複数の相談先の一つとして、学生相談室を困ったときの相談先のリストに是非加えてご活用ください。

学生相談室は、学業や進路について、対人関係や性格、恋愛や家族のこと、心身に関わること等、学生生活を送る中で出会う様々な悩み事や困りごとについて、事の大小にかかわらず広く相談をお受けしているよろず相談室です。

学生相談室は、助言を得る場であるだけでなく、皆さんがどうしてそのような課題や悩みに行きあたってしまったのか、どうしたらのりこえられるのかについて一緒に考えてゆく場でもあります。相談を通じて、皆さんが気持ちや考えを整理したり、自分を見直したりしながら問題解決や状況改善に向けた糸口を見出してゆくことをお手伝いいたします。こんなことを相談したもののか、人に相談するほどのことなのだろうかと躊躇する方もいらっしゃるかもしれませんが、その躊躇や迷いも含めて是非ご相談ください。試しにどんなカウンセラーがいるのかのぞいてみよう、まずは軽く雑談のつもりで行ってみよう、といったお気持ちでの利用も歓迎いたしますので、気軽に足を運んでみてくださいね。

(臨床心理士 建部有里)

■ 学生相談室のご案内

学生生活の中で問題や悩みに出くわしたとき、一人で抱え込むのではなく気軽に相談室をご利用ください。相談は臨床心理士が担当し、学業、進路、課外活動、将来、対人関係、性格、家族、心身の健康についてなど、事の大小に関わらず学生生活に関わる様々な悩みや問題について幅広い相談をお受けしています。

また、学生相談室内にサロンを設置し、開室時に開放しています。疲れたときやほっとしたいときに、学内での居場所のひとつとしてご利用ください。飲食も可能です。

● 相談申込み・問合せ先

学生相談室 育心館 4階

相談を希望される方は、学生相談室に直接来室してお申込みいただくか、電話もしくはメールにて予約をお願いいたします。相談は無料です。

- ・開室（受付）時間：月～金 8：45～17：15
- ・電話：075-595-4672
- ・メール：gakusou@mb.kyoto-phu.ac.jp

■令和2年度 日本薬学会 物理系薬学部会 奨励賞を受賞

代謝分析学分野の内藤助教が「令和2年度 日本薬学会 物理系薬学部会 奨励賞」を受賞しました。

受賞者：代謝分析学分野 助教 内藤 行喜

演 題：糖尿病治療を目指す亜鉛錯体の分子メカニズム解明

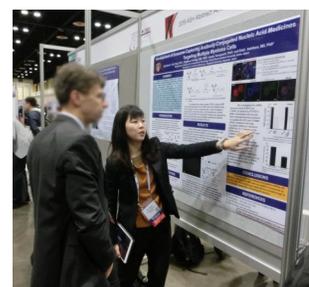
■「The 61st Annual Meeting of the American Society of Hematology (第61回アメリカ血液学会)」においてAbstract Achievement Awardを受賞

2019年12月7日～10日にオーランド（アメリカ合衆国）で開催されたThe 61st Annual Meeting of the American Society of Hematology（第61回アメリカ血液学会）において、病態生理学分野の相馬瑛美さんがAbstract Achievement Awardを受賞しました。

受賞者：病態生理学分野 5年次生 相馬 瑛美

演 題：Development of exosome-capturing antibody-conjugated nucleic acid medicines targeting multiple myeloma cells.

演 者：Emi Soma, Yuki Toda, Shigekuni Hosogi, Asako Yamayoshi, Eishi Ashihara



■専門・認定薬剤師養成 履修証明プログラム「Lehmannプログラム」が日本経済新聞、薬事日報、読売新聞に掲載されました。

日本経済新聞（2019年11月21日付）、薬事日報（2019年11月25日付）、読売新聞（2019年12月5日付）に本学の専門・認定薬剤師養成 履修証明プログラム「Lehmannプログラム」が掲載されました。

（日本経済新聞はQRコードよりご覧いただけます）



■新聞記事の一覧についてはこちら

(<https://www.kyoto-phu.ac.jp/compendium/paragraph>)



下記の方々からご寄附を賜りました。この度のご支援を感謝し御礼申し上げます。

* 高額のご寄附（10万円以上）を頂いた方は、京都薬科大学奨学金規則の別表に掲載させていただきます。

* 敬称略、芳名のみ掲載しております。

2019年12月～2020年2月にご寄附をお寄せいただいた方々

＜ 卒業生・同期会等（卒業年次順）＞

東 富雄	後藤 浩司	高美 美鶴
内田千恵子	澤木 裕子	保田 静枝
小野 敏明	清水 正己	松本 静子
古賀 俊博	高美 時郎	渡邊 温

＜ 平成2年度卒業30周年記念募金（平成2年度卒業生）（五十音順）＞

赤座 千幸	木瀬 恭子	山田 忍
井手 弘美	木村 哲也	吉川紀己子
加藤 伸一	宮崎 耕治	

＜ 保証人（五十音順）＞

岡崎 紀	酒井 広和	田中 義一
------	-------	-------

＜ 企業・団体・一般＞

株式会社ファーマシィ

＜ 法人役員・評議員・職員等（五十音順）＞

太田 俊作(名誉教授)	後藤 直正(学長)	富永 重夫(職員)
北出 達也(教授)	高野 江里(課長)	中谷 庄吾(課長)

(2020年2月29日現在)



KPUNews No. 201 2020年4月発行／編集：KPUNews編集委員会

発行：京都薬科大学 〒607-8414 京都府京都市山科区御陵中内町5 ☎075-595-4691(企画・広報課)

※本誌掲載の文章及び写真の無断転載を禁じます。